

第3学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	美術資料 (秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 ・主題を考え、1・2年生までに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 ・主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 ・作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 ・鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 ・いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美を探し求めて ・夢をかたちにするデザイン <p>○ゲルニカは語る（鑑賞）</p> <p>○空想の世界への誘い（デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートグラス（スケッチ） 	<p>3年生の美術科での学習内容を知り、3年間のまとめとしてどのようなものを制作していくか、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>色や色彩、構図や描き方などから、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫を感じ取り、友達の意見なども聞きながら、自分の見方や感じ方を深める。これまでの美術で学習した、構成、色彩を生かし、用いる場面や飾る場所などを想像して主題を生み出し、想像力を膨らませ、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や立体で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験、見たことや聞いたことなどから空想を広げて主題を生み出し、想像力を膨らませ、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に表現する。 ・心の中を深く見つめ、想像力を働かせて空想の世界をイメージながら主題を生み出す。 ・主題を基に、自分の体験や物語などから、新しい世界をイメージし、表現の構想を練る。
2 学 期	<p>○空想は現実を超えて（デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートグラス <p>○動画の企画（デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵コンテ 	<p>自分の体験、見たことや聞いたことなどから空想を広げて主題を生み出し、具体物や抽象的な物の組み合わせ、構図や色彩を工夫して表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然物や心のイメージなどから主題を生み出し、形を単純化、強調するなどして構想を練り、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に表現する。 ・友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り、話し合う。 <p>これまでの美術で学習した、構成、表現方法を生かし、自分の体験、見たことや聞いたことなどから想像を膨らませて主題を生み出し、何を伝えたいのか、どう見せたいのかを工夫して表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物や心の中のイメージなどから主題を生み出す。 ・主題を基に、形から感じる動きや存在感などを生かして表したい映像を考え構想を練る。
3 学 期	<p>○動画をつくる（デザイン・鑑賞）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストップモーションアニメーション 	<p>これまでの美術で学習した、構成、表現方法を生かし、主題を生み出し、想像力を膨らませ、構成台本、撮影ショット、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や立体、からだを使って表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料の質感などに着目し、意図や効果などをとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しをもって表現する。 ・撮影の小道具、材料を工夫して表す。 ・友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り、話し合う。